

所信声明

助産規則と女性との協力関係 Midwifery Regulation and Collaboration with Women

背景

女性および多様なジェンダーの人々は、マタニティケアの組織化において、政策的・政治的变化を求めてい（1）。ケア提供者の質に依存する助産サービス利用者の立場にある人も、助産規則を策定・監督する組織に含まれていることが適當である。政策立案にサービス利用者を関与させることで、規則機関は保護を目指す人々の利益を真に守る政策にすることができる。このような関与は、助産サービスを利用する人々のニーズや、幅広い社会的背景によりよく対応できる、より協力的で対応力のある規則環境を促進する。

ICM には、世界基準、ガイドライン、所信声明といった複数の文書があり、これらは女性の権利や、国民を守り質の高い助産ケアを保証する規則における意思決定プロセスに女性が関与することを明確に支持するものである。

助産規則にサービス利用者（女性と多様なジェンダーの人々）を参加させることで、サービス利用者たちの以下の能力が強化される。

- 女性や多様なジェンダーの人々が主な利用者である助産サービスの設計と提供に影響を及ぼし、経過を追うこと。
- 健康と質の高い助産サービスを受ける権利について、他の女性たちやその家族を教育し、エンパワーメントを図り、参加を促すこと。
- 地域社会に草の根の取り組みを構築し、その経過を追い、政府、開発パートナー、他の利害関係者に対し、妊産婦・新生児に質の高い医療を提供する責任を果たすよう求めること。

所信

ICMは、どの国においても、助産規則を監督・管理する運営機関にサービス利用者を含めることの重要性を認識する。

ICMは、国内のケアの質を高めることを意識する女性団体内から代表を選出することを推奨する。

ICMは、政府および、助産規則の改訂または草案に関わる人々に対し、その規則の内容や国内での適用について、幅広い女性および関係団体の意見を求めることが要望する。

会員団体への推奨

会員団体は以下を実施するよう求められる。

- 自国の助産を規則する機関と協力し、規則の整備・見直し・実施においてサービス利用者との協議の必要性を訴えること。
- この目標の実現に向けてサービス利用者と協働すること。

出典

(1) White Ribbon Alliance (2021) Behind the Demands.

<https://whiteribbonalliance.org/resources/behind-the-demands/>から入手可能。

<https://whiteribbonalliance.org/resources/behind-the-demands/>

関連 ICM 文書

- ICM. 2024. 助産規則の世界基準
- ICM. 2024. 所信声明 女性と助産師のパートナーシップ
- ICM. 2023. 所信声明 助産業務を統率する法律
- CM.2014. 基本文書 助産師の倫理綱領
- ICM. 2024. 規則のツールキット

1999 年、マニラ国際評議会にて採択

2017 年、トロント国際評議会にて見直し・採択

2024 年、オンライン国際評議会にて見直し・採択

次回の見直し予定：2027 年

2024 年 公益社団法人日本看護協会、公益社団法人日本助産師会、一般社団法人日本助産学会 訳

「Midwifery Regulation and Collaboration with Women」の原文については、ICM が著作権を有します。

日本語版は、ICM 会員団体である日本看護協会・日本助産師会・日本助産学会が、ICM の許諾を得て翻訳しました。

日本語版については、日本助産学会に帰属します。なお、ICM も同様の権利を持ちます。日本語版の転載については、ICM ならびに日本助産学会 <https://www.jyosan.jp/> にご連絡ください。なお、学術目的で日本語版を利用する場合は、出典を明記して、自由に引用することができます。